

B型肝炎・C型肝炎について

▶**B型肝炎・C型肝炎の方について** 総合病院(岡崎市民病院・トヨタ記念病院など)で、インターフェロン治療やリバビリン治療・ラシブジン治療を受けた後の継続治療として、あるいは治療後の経過観察として、紹介(逆紹介)を受けて、当院で治療を行っています。

▶経過観察の方法について

肝機能の値(トランスアミナーゼ)と腫瘍マーカー(α -フェトプロテイン・PIVKA-IIなど)を定期的に測定し、同時に腹部エコーとCTIによる定期画像診断も行っています。

B型・C型肝炎ウイルスが原因となっている慢性肝炎は、慢性肝硬変・肝臓がんに移行する可能性が高いので、定期的な検査で早期の変化をとらえるために、エコーを駆使しています。



慢性肝炎



肝硬変

※慢性肝炎から肝硬変へ進むと、表面の凹凸、内部エコー不整・不均一、腹水の貯留などの所見が出てきます。

B型・C型肝炎ウイルスが原因となっている慢性肝炎は、肝硬変・肝臓がんに進行していく可能性があるため、定期的な検査で早期の変化をとらえるために、腹部エコー検査を駆使しています。

また、トランスアミナーゼ(AST・ALTなど)の値が高めの場合には、肝機能改善剤のグリチルリチン製剤や、肝底護剤のウルソを中心とした継続治療を行っています。

さらに当医院は、岡崎市の公共事業であるB型・C型肝炎ウイルス無料検査制度にも参加しています。

この制度は、出産時や大手術、過去に輸血を受けたことのある方など、B型・C型肝炎ウイルスに感染した可能性のある方に対して、負担なしで血液検査を行い、肝炎ウイルスに感染しているか否かを診ていく市の公費制度です。

これにより感染が無ければ安心できますし、万が一感染が確認できた場合は、必要な治療を行っていくこととなります。